

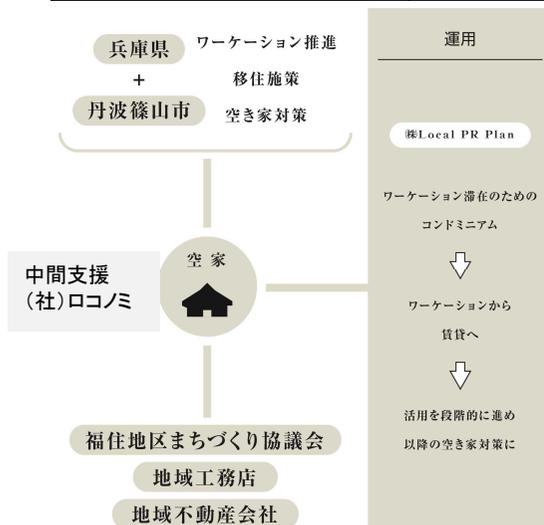
【R4】地域に点在する空き家を活用し地域課題に繋げるワーケーションビレッジ創造事業 (株式会社Local PR Plan)

別添資料4

兵庫県丹波篠山市福住地域で、増加する複数の空き家群を活用・整備し、2拠点居住・リモートワーカーを呼び込むためのモデル計画・モニター企画を行なった。結果として①地域の空き家を管理する中間組織設立の準備が整い②空き家を2軒改修、5グループが滞在できる拠点が整備され③都市部の若手人材とモニターツアーを行い、魅力的なワーケーション滞在に向けた事業計画を作成、R5年兵庫県丹波県民局と連携し推進していく事となった。

■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	兵庫県丹波篠山市福住
背景・課題	2011年よりまちで空き家と移住開業社のマッチングに取り組む。約30件の移住者が開業。 課題1: 空き家と移住開業希望者が偶発的に現れミスマッチする 課題2: 1軒に滞在するワーケーション計画では、空き家活用が一軒に留まる 課題3: 2拠点居住や関係人口に繋げるため、地域との接点やビジネス課題に触れる場が必要
目的	1. 空き家発生と、空き家利用者のニーズ出現の「時差」を解消する 2. オフィス空間と居住空間を別離させ、まちに発生する複数の空き家群を活用 3. ワケーションで地域に触れることで「ナリワイ」をつくり、移住後の仕事に繋げる場
連携する団体・役割	【兵庫県丹波県民局】【丹波篠山市】 移住促進事業連携及び、移住者向け住宅改修費補助 【福住地区まちづくり協議会】 移住定住促進事業推進 【公益財団法人兵庫丹波の森研究所】 福住地区移住定住促進構想への研究協力・会議サポート 【NTT 若手有志グループ 0-den】 ワケーションビレッジモニターへの参加、プログラムの検討



- ① 中間支援組織地域不動産ファンドを形成 ② 空き家群活用のためのモデル家屋改修
- ③ 魅力的な滞在とナリワイづくりに繋がる企画の策定

取り組みステップ / 空き家ステージ	通常期 予備軍が存在	予備期 顕在化	空き家 改修工事 活用
実施			4. 賃貸物件として活用 関係人口増 定住促進へ
提案対策			3. ワケーション ビレッジとして活用 改修工事
相談対応		2. 空き家の顕在化 購入、賃貸、用途の確認	
対応準備	1. ワケーション企画の推進 利用滞在者の増加 定住希望者の獲得		

Online Communication をベースに
ワーケーションも活用し、新しい事業を構想する

